

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

何かをせつめいしている本を 読んで、せつめいのくふうを見つけよう。

【ほかの本のしょうかい】

- ・「朝ごはんをつくらうー」
- ・「おりがみとあきばこでどうぶつえん」
- ・「てじなでだましっこ」
- ・「あやとり いととり」

【たんげんの学しゅうのまとめ】

- ◆せつめいのくふう◆
- ・じゅんじよをあらわすことばを つかう。
- ・数字や絵やしんを 入れる。
- ・気をつけることを 入れる。

【9 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート（「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう）
本時のねらい

事物を説明している本に関心をもち、説明の工夫に気付きながら読ませるようになる。

1 本時のめあてを確認する。

- 身の回りには何かを説明している本がたくさんあることを知り、関心をもちさせる。
- ※ 単元の最後のページに板書計画で挙げてある本が紹介されています。他にも適切な本をたくさん用意しておき、身の回りには、物語や図鑑の他に何かを説明している本がたくさんあることに気付かせましょう。

2 事物を説明している本を読む。

- 何かを説明している本を手にとらせ、説明の工夫を見付けながら読ませる。
- ※ 本は学級の人数に合わせて担任が用意しておくようにしましょう。学校図書館や地域の図書館を利用しましょう。
- ※ 教材文になかった説明の工夫にも気付かせるようにしましょう。
- 見付けた工夫を、ワークシートに記入させる。

評価 事物を説明している本に関心をもち、説明の工夫に気付きながら読んでいる。

（関）

3 単元の学習内容を振り返る。

- 「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」の学習を通して、学んだことについて考えさせ、説明するときには順序を表す言葉や数字、絵、気を付けることなどを取り入れるとよいということを確かめさせる。
- 単元全体を振り返り、身に付いた力を踏まえて感想を書かせる。
- ※ 「説明」という言葉を使わせるようにしましょう。
- ※ できるようになったことや分かったことを中心に書くように指示しましょう。
- 他教科や日常生活でも、人に説明するときや説明する文章を書くときは、三つの説明の工夫（順序、数値や絵や写真、気を付けること）を意識するとよいことを伝え、活用を図るようにする。